

先輩を思
つて自慰しちやう

後輩の小話

¥18





残りの学校生活を
過ごすとなると
寂しく感じる事も
あります

先輩、どの
高校行ったんだろ…

卒業後は
それぞれ違う道を
歩むという事を…



先輩が卒業して
島を離れてから
半年が経ちました



私、白浜涼羽は
中学3年生に
進級し

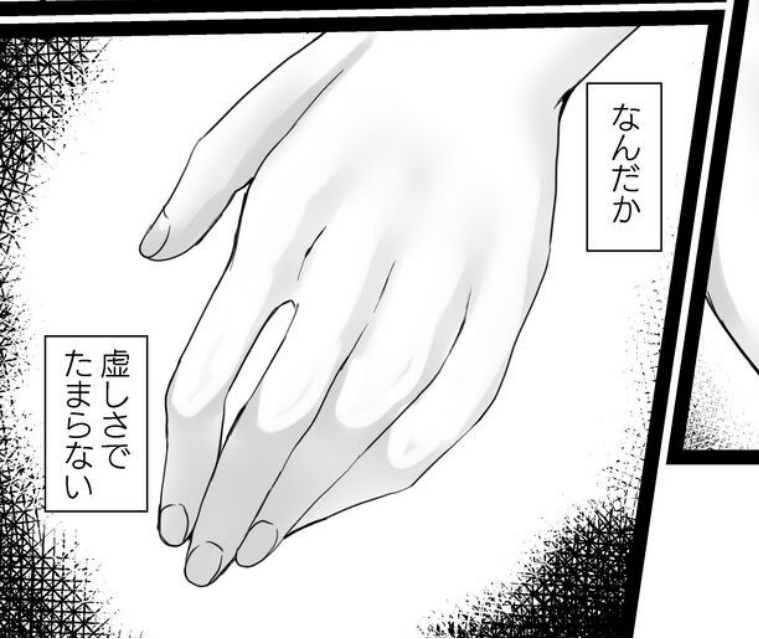
進路という
これから大事な
時期に入ります



学校生活で
忙しいのかなあ…

教えてくれたら
目指せたのに…

はー…



なんだか

虚しさで
たまらない



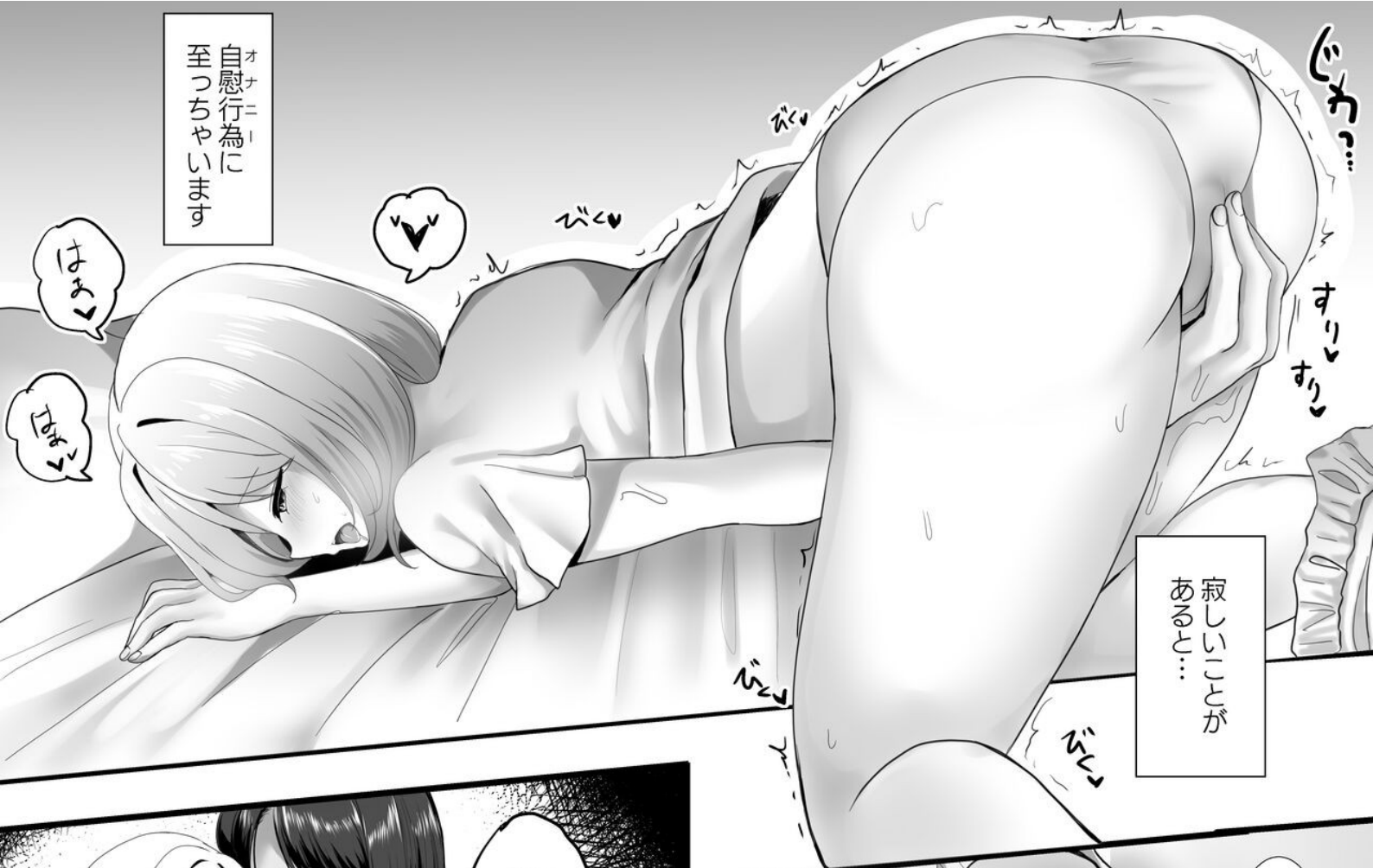
しかし先輩は

帰省する事になったら
また連絡するね

残りの学校生活、
楽しんでね！

先輩こそ、新しい
高校生活を送って
くださいね！

進学先の高校を
私には教えて
くれませんでした



オナニ
自慰行為に
至っちゃいます

寂しいことが
あるよ...



あそこ、
濡れてるよ...

いつも傍らに
先輩が居ても
おかしくない
位に...



涼ちゃん...

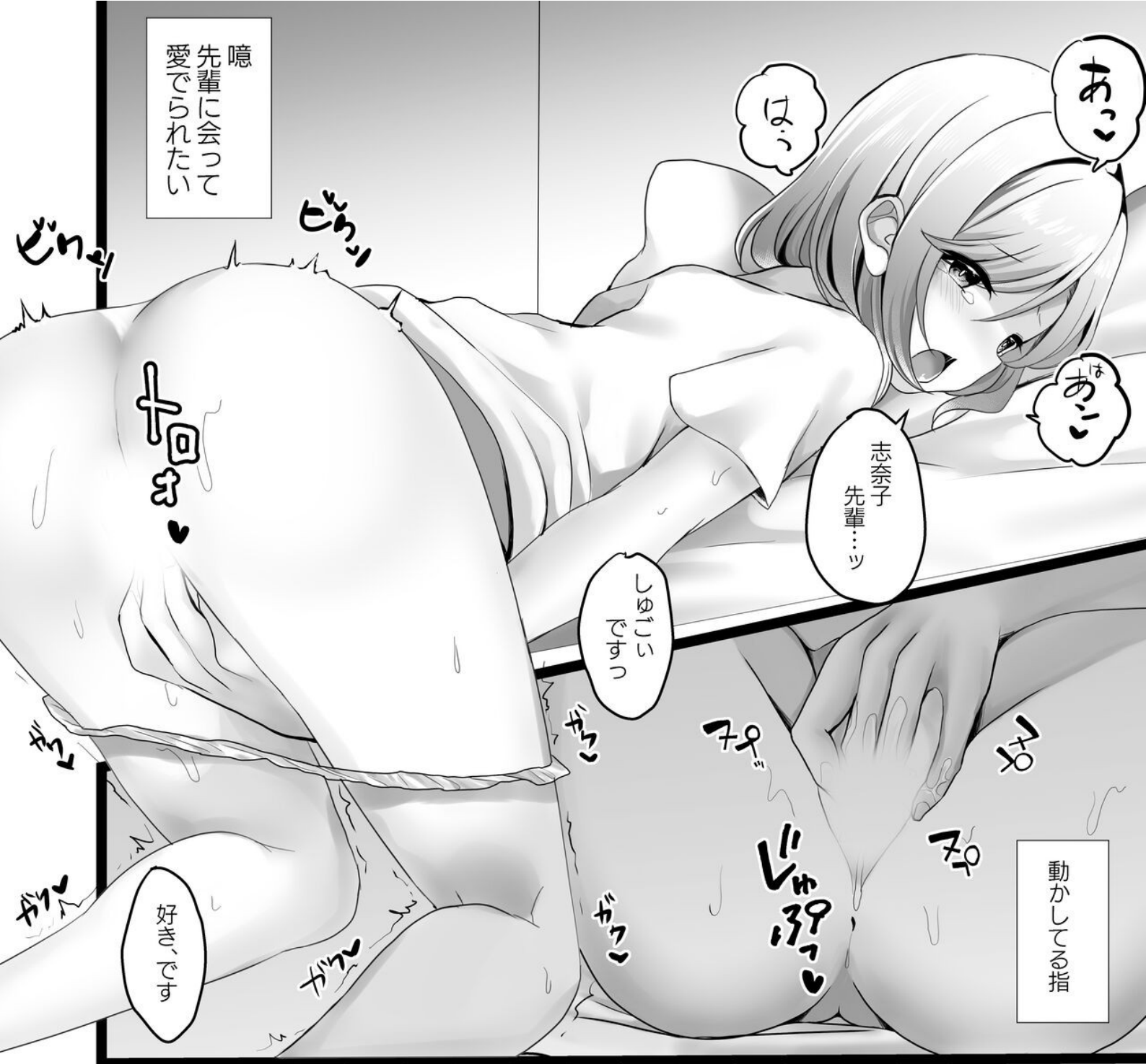


脳内で先輩の
声が過る



近くに
いるような
幻覚を
見ちゃう

私を
求
め
て
い
る
の
ね?







志奈子っ

先輩い...♡



はま

涼ちゃんのナカ、凄かったよ...♡

はま



志奈子「す、涼ちゃん……？」

涼羽「私に隠れて他の同級生と
仲良くしてたら許しませんよっ」

志奈子「大丈夫よ、あの人達とは
特別仲いいわけでも無いんだから……」